

# にじいろはーと vol, 5

## 近況・あんなことこんなこと

日々の業務に追われ、会報誌の発行にずいぶん「ま」が空いてしまいました。ごめんなさい！自立援助ホーム「みらい」放課後等デイサービス「なないろ」、そして子どもシェルター。まずは今年度の状況報告より！



### 【みらい】

4月に新しい仲間を迎え、5名でスタート！現在も就労に頑張る（また正社員が1名増えました！）、高校通学に頑張るなど子どもたちは自分の速度でがんばっちゃります！

そのような毎日の中、ホーム内が少しでも暮らしやすくなるように、ちょこちょこの改修工事や修繕工事を重ねています。「ランドリールームの設置」「屋外駐輪場の設置」等々、ご寄付や助成等のおかげさまもあって、少しずつではありますが、生活環境が豊かになってきています。また、職員のつながりで調理師資格をもつ方が、週に2回食事作りのお手伝いをしてれています。食の豊かさはとても大切。男性職員の「先生」でもあります。シェルター利用は今年度未だありませんが、緊急的な対応がいつでもできるよう研修や実践を重ねています。

### 【なないろ】

低学年の仲間が増え、ますますにぎやかになっています。今年度より地域に空き家をかりて、子どもたちの学年や特性等によって集団を2つに分けた療育支援を実施しています。大分大学のお兄さんやお姉さん、保育士をめざすお兄さんなどたくさんの方の若い力が、学習支援・体験学習支援など豊かになってきました。

そのような中、なんとといってもお伝えしたいことがあります。おそらく放課後デイとしては県内初！宿泊

を伴う「キャンプ」に行ってきました！4年生以上の子どもたち限定の「宿泊体験」でしたが、それはそれは楽しく有意義な活動でした。

「はじめての花火に興奮！」

「早朝のカブトムシとり」（とれませんでした…）

「みんなで力を合わせたごはんづくり」

などなど。日常のなないろを飛び出してとっても貴重な体験をすることができました。



### 【川「のぼり」】

飛び込んで一流されて  
一浮き輪につかま  
って一また飛び込む

「みらい」も「なないろ」も。

子どもたちの大切な「居場所」となれるように、これからもみんなで力をあわせて頑張っていきます。応援よろしくお願いいたします。



## 一きつきプロジェクト

就農体験活動が実施されました！

### 「福祉（子どもたち）と地域課題をつなげる」

前号でお知らせした「きつきプロジェクト」の中心企画「就農体験活動」が8/22～26に開催されました。



### 【事前学習会】

参加する子どもたちと事前に学習会を実施！

今年度大分県内の児童養護施設より参加してくれた児童は21名。男女それぞれが事前学習会から集合し、地域の農業経営者や酪農業を営む方など、子どもたち

の就農体験を受け入れてくださる事業者の方々とふれあいながら、男女それぞれのグループに分かれ、2泊3日の体験活動を実施しました。

早朝から夕方以降まで、希望の事業所に分かれ、「真夏の体験活動」。その様子はー。  
「暑い」、「きつい」などほとんど弱音を吐かないこどもたち。それどころか、たくさん笑顔。やり切った感。がんばったぜオーラ！児童養護施設の職員さんも杵築市の職員の方々も（市長も登場）、牛もなすもバジルも…。そんな活動に神様が…。

牧場での出来事。高校3年生の女の子。「おじいちゃんが昔牛の世話をしてて…。それで参加しました」と語っていた女の子。その子が一生懸命牛の世話をしていると、ある牝牛がお産の状況に。新しい命が生まれる瞬間に立ちあうことができました。それどころか牧場主さんが「君、よく頑張ってくれたから、産まれた子牛に名前をつけてくれないか？」と。女の子は自分と同じ「ユキ」という名前をつけました。神様ー！あるんですね。こんなことが。おそらく一生忘れることのできない体験になったのではないのでしょうか。粋な牧場主さん。その他の事業所もこどもたちのためにたくさんの時間と愛情を注いでくださいました。

大分県杵築市。素敵な市長、素敵な大人がたくさん住んでいる街。「社会の力」「地域のチカラ」を感じた活動になりました。この活動はこれからも大切に育てていきたいと思ひます。

活動に関わってくださったたくさんみなさま。こどもたちにとって大変貴重な体験になりました。心から感謝申し上げます。

**「ありがとうございました！」**

行政機関や地域社会、福祉現場の方々、そして子どもたちといっしょに「カタチ」を創っていきたく思ひます。今後の会報誌でまた経過報告いたします。



ご意見・ご質問等あれば電話もしくはメールにてお尋ねください。

おおいた子ども支援ネット事務局 TEL: (097) 507-5417 mail: oita-kodomoisien777@oct-net.ne.jp

## ～おしらせ～

特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット ★  
法人設立2周年記念シンポジウム  
**「こどもの居場所」**  
～こどもの存在を「認め・受け入れ・肯定する」社会のあり方を考える～  
参加無料（定員300名）

日時 平成28年12月18日（日）  
13:00-17:00（予定）  
会場 コンパルホール3F 多目的ホール  
大分県大分市前町1丁目5番33号  
アクセス：大分駅前内中央口より徒歩5分

内容 第1部 基調講演  
講師 NPO S.S.F（スチューデント・サポート・フェイス）  
代表理事 谷口 仁史 氏  
第2部 パネルディスカッション  
コーディネーター 大分大学福祉福祉科学部  
学部長 衣笠 一彦 氏

パネリスト  
谷口仁史氏  
ほか

（進行予定）  
12:30～ 開場・入場（受付開始）  
13:00 開会・主催者あいさつ  
13:15 基調講演 谷口 仁史 氏  
＜休 憩＞  
15:00 パネルディスカッション 「こどもの居場所」  
＜休 憩＞  
16:40 まどが・閉会のごあいさつ  
17:00 閉会

後援 大分県・大分県弁護士会・大分県児童養護施設協議会  
子どもシェルター全国ネットワーク各団・九州労働組合大分県本部

～家族や学校、地域社会等から「居場所を失う」こどもたちがいる。  
こどもたちの「孤立」や「孤児」と私たちはどのように向きあうのか。

お問い合わせ 特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット事務局（平日10:00～16:00）  
TEL:(097)507-5417 FAX:(097)507-5417 mail:oita-kodomoisien777@oct-net.ne.jp

### <法人開設2周年記念シンポジウムやります！>

★日時 平成28年12月18日（日）

午後13:00-17:00（予定）

★場所 大分市コンパルホール 3F 多目的ホール

当法人開設2周年を記念し「こどもの居場所」について考えるシンポジウムを開催いたします！（拍手）  
基調講演は、な、なんと「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」にとりあげられたことでも有名なアウトリーチ支援の巨匠、「谷口仁史さん」（佐賀 NPO スチューデント・サポート・フェイス代表）がお見えになってくれます。このような機会めったにありません！  
お時間の都合つくかた、是非ご参加ください。

なお、事前申し込みを受けつけています。下記事務局へメールください。（電話申し込み不可）

（当日参加も受けつけますが混雑回避のためできるだけ事前申し込みをお願いいたします）